講義計画書

（シラバス）

2026 年度

第 35 期生

【1 年次】

≪抜粋版≫

宮本看護専門学校

学籍番号	氏名

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	基礎看護学	配当時期　1年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	看護学概論	単位数　1単位	岡本　泰子（18） 増尾　真由美（4） 平野　真紀子（2）
		時間数　30 時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1. 看護の歴史の変遷を学び、看護の現状や課題・国民の健康状態の全体像が説明できる
2. 看護理論を学び、対象のニーズ・反応を看護実践に活かす情報として活用できる
3. 看護学における倫理の考え方や実践における倫理の重要性について説明できる
4. 保健医療福祉分野の連携の中で、看護の独自性や役割について説明できる

回	日	時間	学習内容	方法	担当
1	4/10	1 限	看護の概念（看護とは何かを学習する）	講義・GW	岡本
2	4/21	2 限	ケアする人の在り方　生きてきた時代背景の違い 看護の役割と機能		
3	5/13	2 限	看護の変遷（日本・世界） 職業としての看護・発展	講義・ ①レポート	
4 5	6/4 6/10	1限 1限	看護における倫理　事例学習	講義	増尾
6	7/6	1限	看護理論（看護についての主要な理論・概念・人間の定義） ナイチンゲール・ヘンダーソン・ゴードン・オレム	講義 ②レポート	岡本
7 8 9	9/16 9/30 10/21	4 限 2限 4限	看護理論を使って対象理解 人間の反応・個人の捉え方 個人の理解（発達段階・健康状態・治療・療養の場）	講義 GW	岡本
10	11/25	4 限	国民の健康状態と生活 障害とはなにか　健康生活 国民の健康の全体像	講義 GW	岡本
11	11/27	2限	看護職の資格と法律・社会保障と健康の維持	講義	平野
12 13	12/2 12/11	3 限 3 限	看護提供の仕組み（チーム医療・協働・連携） 看護の行われる場（看護はどこで必要とされるのか） 地域における看護・多様な場での看護・継続看護 看護をめぐる制度と政策	講義	岡本
14	1/18	4 限	看護の質保証に必要な要件	講義	岡本
15	1/27	1 限	まとめ		

備考

評価方法

筆記試験　70%　課題提出・グループ討議参加状況 30%

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　基礎看護学「看護学概論」、 日本看護協会出版「看護師倫理綱領」
日本看護協会出版 「看護の基本となるもの」、 サイオ出版「実践に活かす看護理論」
現代社「ナイチンゲール看護論入門」「看護覚え書」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	基礎看護学	配当時期　1年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	看護技術Ⅴ	単位数　1単位	岡本　泰子（8） 看護師臨床経験有
教育内容	病床環境 衣生活・身体の清潔	時間数　30 時間 （試験含む）	岡野　江衣（20） 看護師臨床経験有 増尾　香代子（2）

科目全体のねらい・到達目標

1. ナイチンゲール理論を用い、看護における環境調整が理解できる
2. 病床環境を観察し、安全・安楽・自立を考えた調整が実践できる
3. 皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔の効果と全身への影響を理解する
4. 清潔援助の方法選択の視点を理解し、基礎的な清潔援助技術が実践できる
5. 病床での衣生活の基礎知識を理解し、援助の実際と寝衣交換が実践できる

回		日	学習内容と成果	方法	担当
1	5/12	3 限	環境とは　人と環境　療養生活と環境	講義 GW	岡本
2	5/21	3 限	健康生活の維持・増進や疾病の回復のための 入院生活における病床環境の調整、整備の方法	講義 演習	
3	6/16	3 限	ベッドメイキング	講義 演習	
4	6/16	4 限	環境整備の実際 臥床患者のシーツ交換		
5	5/30	1 限	口腔ケア	講義	増尾
6	5/14	1　限	皮膚・粘膜の構造と機能 清潔援助　清潔の援助の基礎知識(目的・効果) 患者に応じた援助の決定と留意点	講義	岡野江
7	5/26	3 限	病床での衣生活援助　衣服を用いることの意義 病衣の選び方　病衣・寝衣の交換	講義 演習	岡野江
8	5/29	3 限	全身清拭(上半身)	講義・演習	
9	5/29	4 限	全身清拭(下半身)	講義・演習	
10	6/3	4 限	手浴・足浴	講義・演習	
11	6/29	4 限	洗髪	講義・演習	
12	7/15	4 限	その人のその時々に合わせた援助の決定と留意点	講義・演習	
13	7/17	4 限	全身清拭	演習	
14	9/11	4 限	全身清拭	演習	
15	9/16	1・2 限	筆記試験(45 分)・実技試験(全身清拭)(45 分)	技術試験 ワーク	

備考

評価方法

技術試験、筆記試験、課題

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　基礎看護学　基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	基礎看護学	配当時期　1年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	看護技術Ⅵ	単位数　1単位	古畑　貴子（30）
教育内容	栄養と食事　排泄	時間数　30 時間(試験含む)	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1. 人間にとっての栄養と食事の意義を理解する
2. 栄養状態及び摂食能力のアセスメント方法を理解する
3. 健康レベルや食行動の自立度に応じた食事と栄養摂取方法を考え、効果的な援助方法を習得する
4. 人間にとっての排泄の意義を理解する
5. 排尿・排便に関するメカニズム・アセスメント方法を理解し、対象者に応じた排泄援助を習得する
6. 食事・排泄の援助について看護の基本姿勢や役割について理解する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	5/7	2 限	食事とは　栄養と食事の意義 食事援助の基礎知識	講義 GW	古畑
2 3	5/26 5/27	4 限 4 限	食生活変更の必要性・患者認識・行動のアセスメント 食生活の基本的援助　看護の役割 食事摂取の介助	講義	
4	6/4	4 限	麻痺患者・嚥下機能障害・視覚障害のある患者への食事介助	演習	
5	6/29	3 限	非経口栄養法　経腸栄養・静脈栄養	講義	
6	6/30	3 限	経管栄養法　胃管挿入・固定・確認方法　挿入中の看護	演習	
7	9/18	1限 2限	排泄とは　排泄の意義　メカニズムとアセスメント　援助方法 失禁の種類と援助方法　看護の役割		
8	9/24	2 限	排泄援助　床上排泄（便器・尿器）　トイレ・ポータブルトイレ	演習	
9	9/25	3 限	排泄援助　床上排泄（便器・尿器）　トイレ・ポータブルトイレ	演習	
10	9/30	4 限	排便を促す援助　浣腸・摘便	演習	
11	10/1	4 限	オムツ交換　陰部洗浄　事例をもとに援助を考える	GW	
12 13	10/2	1 限 2 限	導尿　一時的導尿・持続的導尿　B-T 挿入中の患者の看護	演習	
15	10/16	1 限	終講試験	講義	
備考					

評価方法

筆記試験、課題

使用するテキスト

医学書院　系統別看護講座　基礎看護学　基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	基礎看護学	配当時期　1年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	臨床看護総論	単位数　1単位	増尾　真由美（15）
教育内容		時間数　15 時間 （試験含む）	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

看護の基本である、多様な健康上のニーズをもつあらゆる発達段階の人々に、基本的な看護学の知識や技術を統合し、応用するプロセスの学習をめざす

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	1／13	1 限	臨床看護学総論とは 看護とは「看護であるものとないもの」 看護するために必要な要素	講義 GW	増尾
2 3	1／19	1限 2限	自分の看護を振り返る 「5つのものさし」から自己の行った看護の意味づけ、不足していた部分、新たな看護を考察する。	個人ワーク グループ内で発表 全体発表	
4 5	1／26	1 限 2 限	臨床判断のプロセス 事例をもとに考える（症状、時期、治療の看護）心筋梗塞	ロールプレイ 講義	
6 7	2／5	1限 2限	事例をもとに考える（症状、時期、治療の看護）脳梗塞 看護倫理	講義	
8	2／10	1限	終講試験		

備考

評価方法

筆記試験・レポート

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　基礎看護学「臨床看護総論」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	老年看護学	配当時期　1年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	老年看護学概論	単位数　1単位	平野　真紀子（30）
教育内容		時間数　30時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標
老年期にある対象と家族、生活環境、ヘルスケアシステムについて理解し、老化と疾患・障害の程度に応じた看護の役割と機能について学ぶ

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	7/14	2限	老いるということ、老いを生きるということ ①加齢と加齢変化・老化②恒常性③流動性知能と結晶性知能④健康寿命 老年期の発達段階 生活史（ライフヒストリー） 家族ウォッチング・インタビューレポート　発表	講義 GW	平野
2	7/17	2限			
3	7/17	3限			
4	9/10	4限			
5	9/25	1限	超高齢化社会と社会保障 ①超高齢社会の現況②高齢者と家族③高齢者の健康状態④高齢者の死亡⑤高齢者の暮らし	講義 GW	
6	9/25	2限			
7	10/15	4限			
8	10/19	3限	1．高齢者の権利擁護 ①スティグマ②エイジズム③アドボカシー	講義	
9	10/19	4限	2．高齢者虐待（虐待の種類・虐待の背景など）	講義 GW	
10	10/21	2限	身体拘束（身体拘束の定義と身体拘束を禁止する規定・身体拘束の例外3原則・身体拘束の現状）		
11	10/22	2限			
12	10/26	3限	1．老年看護の成り立ち 2．老年看護の役割 ①老年看護の目標②老年看護の特徴	講義	
13	10/26	4限	1．老年看護における理論・概念の活用 （離脱理論と活動理論・サクセスフルエイジング・選択最適化補償理論・ニード論・危機理論・セルフケア理論・コンフォート理論・ストレングスモデルなど）	講義 GW	
14	10/28	4限			
15	12/ 4	3限	2．老年看護に携わる者の責務 （高齢者のための国連原則：自立・参加・ケア・自己実現・尊厳）	講義	
	12/4	4限	終講試験		

備考

評価方法
筆記試験点 80 点　　課題 20 点

使用するテキスト
医学書院　系統看護学講座　老年看護学 「老年看護学」

参考文献